

3 家畜共済診療点数表中のB種点数とA種点数との差の見直しに関する検討表

番号	種 別	点 数		理 由	農林水産省の考え方
		現 行	希 望		
2	往診 0.5km～4km	130	120	自動車燃料（ガソリン）価格高騰により、往診コストが増加している。	往診時間等も考慮すると、現行の点数が適当と考えます。 診察料の新設については、本小委員会における再診の適用範囲拡大の可否に関する調査審議結果を踏まえ、必要に応じ対応します。
			100	0.5km～4kmでの点数が多すぎます。診察料を含むとしても運転するだけでこの点数は多すぎます。	
	往診 4～8km	149	120	4km～8kmでの点数が多すぎます。診察料を含むとしても運転するだけでこの点数は多すぎます。やはり診察料を別に設けこの点数は大幅に下げた方が良く考えます。	
	往診	(例) 16km 252-64	(例) 16km 300-70	ガソリン価格の高騰	
5	薬治	51	82	調剤を必要としないものが42点で、必要とするものが51点では安すぎるので、増点が必要。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
23	直腸検査	177	80	直腸検査は検査というより診察であり、本来は診察料に含まれると思われる。給付の基本的な考え方として、診察料が初診料や往診料等他の技術料に含まれることを考えると直腸検査だけが特別な扱いに思えます。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
30	超音波検査	165	177	現在普及している超音波検査器具は繁殖領域で用いることが主であり、直腸検査と同等が適切ではないかと考えられる。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
			200	直腸検査のB-Aは177点である。検査の精度を考慮し、直腸検査より差は大きくあるべきと考える。	
35	検案 (解剖しない場合)	265	150	解剖しない場合の検案は、極端に言えば死亡確認である。別途、往診点数、文書料等加算されることもあり、死亡確認だけに対しこれだけの診療技術料が必要であるとは思えない。	本小委員会における調査審議結果を踏まえ、必要に応じ対応します。
			80	伝染病（炭疽など）はほとんどなく、時間がかからないため。	
36	皮下注射	48	55	薬治料と比べると注射料が低い。保定が必要であることや危険性を考慮し技術料の増額を望む。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
37	筋肉注射	48	55	薬治料と比べると注射料が低い。保定が必要であることや危険性を考慮し技術料の増額を望む。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
				診断し、筋肉注射を行うのに、再診料より安い。	
38	静脈内注射	78	108	保定を含めた技術が必要。皮下・筋肉内投与の2倍。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
			100	筋注・皮下注より高度な技術を要する。	
			140	補液管使用時の時間的拘束（診療時間が長い）。補液管の単価も考慮してほしい。	
37 38	筋肉内注射 静脈内注射	48 78		B10点を引き下げた診療報酬の引き上げをしていただきたい。	
43	洗浄 (眼洗浄・涙管洗浄・鼻腔洗浄及び腔洗浄)	34	43	薬治の点数（42点）と勘案した。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。

番号	種 別	点 数		理 由	農林水産省の考え方
		現 行	希 望		
46	塗布または塗擦	33	43	薬治の点数（42点）と勘案した。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
			50	四肢等に塗布する場合の危険度から増点が必要と思われる。	
55	子宮内薬剤挿入	230	400	子宮内薬液注入は直腸検査と同時に請求できないが、直腸検査の診断結果を経て子宮内薬液注入にいたるものである。これを、直腸検査後の筋肉注射と比較すると子宮内薬液注入290点、直腸検査＋筋肉注射225点で、その差は65点しかない。子宮内薬液注入は直腸検査を含まないで設定すべきである。	直腸検査から子宮内に薬剤を挿入するまでは一連の行為であり、難易度からも現行の点数が適当と考えます。
57	乳房内薬剤注入	53	78	急性乳房炎等の治療で、生理食塩水等に薬剤を調剤し大量に乳房内に注入するケースが増えているので、資材もかかるので静脈注射と同等の技術料を考えていただきたい。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
				無菌操作を必要とする上、腫脹した乳房に注入するには技術を要する。	
58	吊起	312	500	起立不能牛を吊起することで血行の改善、筋肉の損傷を和らげるためにも重要な診療行為であるが、吊起できる場所まで移動させる技術料が考慮されていない。カウリフト・チェーンブロックなど器具が必要なのにA点が低い。	吊起できる場所まで移動することは診療行為ではありません。
59	外傷治療小第1回	127	312	縫合を行う際、デブリードマンを行ってから縫合し、衛生的な施術が必要である。外傷の大小に差はない。	本小委員会における調査審議結果を踏まえ、必要に応じ見直します。
			300以上	手技（労力）時間を考慮しても現状に合っていない。	
			300	処置疼痛等に伴う危険あるが鎮静等は請求出来ない。縫合術など高い技術を伴う場合も多い。	
			250	労力・所要時間の割に点数が低すぎる。外傷治療（大）はB-Aが312であり半分以下というのはおかしい。	
			205	鎮静術が新設されないのであれば鎮静の種別にみあう増点が必要と思われる。	
			127	外傷治療の考え方の変化から、ドレッシング剤等も変化し高価になっている。現状のA点では足りない。	
	外傷治療小第2回以後	53		手技（労力）時間を考慮しても現状に合っていない。	
			158	外傷治療の2回目以後も一回目とほぼ同様の処置が行われることが多いため。	
			82	B-A=53 その他外科処置B-A=82 程度に上げる。2回目以降の治療において症状に左右されるが時間を費やすことが多々ある。	
	外傷治療大第1回	312	500以上	手技（労力）時間を考慮しても現状に合っていない。	
			390	鎮静術が新設されないのであれば鎮静の種別にみあう増点が必要と思われる。	
	外傷治療大第2回以後	127		手技（労力）時間を考慮しても現状に合っていない。	

番号	種 別	点 数		理 由	農林水産省の考え方
		現 行	希 望		
61	蹄病処置	481	581	肢を挙げる作業は労力を必要とするので増点が必要。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
			500～550	蹄病手術（732点）との差が大きいため、危険度も同等であり、処置の点数を上げてほしい。	
62	その他の外科的処置	82	242	乳頭腫除去は、数が多いと時間がかかり、現行の点数では安過ぎる事がある。99 切開手術（小）と同等で良いと考える。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
63	指導	140	430	指導にあたっては対象農家や疾病に関する経験や知識が必要である。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
64	円鋸術	308	600	毛刈り、消毒、局所麻酔、切皮、骨膜剥離、円鋸による穿孔、洗浄、排液管留置などが含まれているが、頻回行われる手技ではなく難しく、他の手技に比べ点数が低すぎる。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
65	眼球摘出手術	518	2000	手術時間、難度。	本小委員会における調査審議結果を踏まえ、必要に応じ対応します。
			874	眼球摘出手術は難易度から判断して、眼科手術と摘出手術を合計した技術点数が必要。	
66	ろ整（馬）	262	700	保定・開口器の装着整歯に長時を要す。蹄病手術程度の点数。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
70	食道異物除去	312	700	保定・開口器の装着整歯に長時を要す。蹄病手術程度の点数。	本小委員会における調査審議結果を踏まえ、必要に応じ対応します。
			624	当診療所の場合、馬の食道梗塞が牛より多いが、危険を伴い、加療に長時間を要する。希望する点数は、蹄病処置 $510-29=481$ よりも、技術的に高度、困難かつ時間を要する為。吊起 $331-21=312$ と同額であるが、危険であり、技術的にも高度かつ長時間を要する。	
79	ヘルニア整復	1567	3000	開腹手術であり、術者および助手が必要。同時に化膿巣を摘出する例が多く、第四胃変位整復手術より長時間を要する場合があるので。	開腹手術とは異なり、難易度からも現行の点数が適当と考えます。
			4049	開腹手術と同様の技術と労力がかかり、無菌的操作が必要となる。	
81	膣脱整復（陰門縫合）	247	264	膣脱整復で陰門縫合をした場合B点で283点になっていますが、手術の際は塩酸プロカインの尾椎麻酔を実施します。尾椎注射はB点で218点であります。そうすると膣脱整復陰門縫合はB点65点ということになります。70食道異物除去と比較した場合、膣脱整復で陰門縫合をした場合、せめてB点で300点は必要かと思います。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
83	子宮脱整復	1567	1667	子宮脱整復が子宮捻転と同じ点数ですが、子宮脱整復は時間外診療が多く、時間を争う業務なので増点が必要。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
			2037	吊起して整復する場合は、ほとんどであるので給付点数が少なすぎる。	
			2067	起立不能などにより吊起、移送など前処置を要する場合はほとんどであり、整復後の処置も必要な場合が多い。	

番号	種 別	点 数		理 由	農林水産省の考え方
		現 行	希 望		
84	直腸脱整復 (縫合法)	194	444	腔脱整復手術と手技的に同じなので同等の技術料を 考えていただきたい。	難易度からも現行の点数 が適当と考えます。
	直腸脱整復 (観血法、牛・馬)	518	600	腔脱整復（観血法）と比べて安すぎる	
85	難産介助 (牛・馬)	566	590以上	胎盤停滞（590点）と勘案した。	難易度からも現行の点数 が適当と考えます。
				B点566点は少ない。胎盤除去の2倍位は必要。オキシ トシン、ホーリンなども別途給付していただきたい。	
	難産介助 (種豚)	311	411	獣医師が依頼される豚の難産は重度が多く、胎子数 が不定なため、分娩間隔を基準とした点数設定は不 合理である。牛同様、経過時間による設定が適当で ある。	
86	子宮捻転整復	1567	2067	胎盤停滞（590点）と勘案した。	本小委員会における調査 審議結果を踏まえ、必要 に応じ見直します。
			2037	用手・ローリング・後肢吊り上げ等、色々な方法が あるが基本的に給付点数が少なすぎる。	
			900～ 1567	用手による整復（900）と、牛体回転による（後肢吊 り上げ含む）整復（1567）は区別すべきである。	
			750	通常の子宮捻転整復は用手法にて整復可能なものが 多く時間的にも短時間での整復が可能である。難整 復性（要牛体回転法や吊起法等が必要なもの）に 関しては別途点数を設定すればよいと思います。	
88	胎盤停滞除去 (牛・種豚)	590	566	難産介助より高いのは問題。難産介助と同じ程度の 点数としてほしい。	本小委員会における調査 審議結果を踏まえ、必要 に応じ見直します。
			400	現在、無理な後産停滞除去は推奨されておらず、あ る程度時間をおいて除去するので実際には短時間で 処理が終わっています。	
			300	牛・豚での胎盤停滞除去そのものの必要性が非常に まれで乏しいものと考えます。牛においては難産介 助のB-A種点数よりも高い状況にある。少なくとも 難産介助のそれよりも低い点数であるべきと考えま す。	
				最近の一般的な手技は、胎盤の一部を軽く牽引して 除去するのみである。この手技で除去不能と判断さ れた場合は、後日に再実施する。難産解除（牛・ 豚）のB-Aが566であることに比し、不均衡を感じる。	
				現在胎盤は除去しない傾向にある。また、点数が高 いと、必要が薄いにもかかわらず除去し産褥熱を引 き起こしかねない。	
				牛の胎盤停滞除去は、30年ほど前とは違って分娩後 2,3日以内ではなく、1週間以上を経過して胎盤が十 分腐敗してから除去するのが一般的になっている。 ですからこんにちの牛の胎盤停滞除去は陰部から下 垂した部分を引っ張るだけで見事に除去、ほんの数 秒から2, 30秒で終了してしまうのが実態であ る。こんなに高い技術点数が付与され続けているの は実態と乖離しすぎだと考える。	
				胎盤停滞除去の点数の引き下げ。（難産の難易にも よるが難産介助と比較して高すぎる）	

番号	種 別	点 数		理 由	農林水産省の考え方
		現 行	希 望		
				胎盤停滞除去は技術料が高すぎる。分娩後4日後位での除去は、大部分が数分で可能。	
				全身症状（産褥熱など）を伴わない牛の胎盤停滞は、用手法による除去によって子宮粘膜を傷つけ、細菌感染を引き起こす。薬液の注入の場合にはそれを邪魔にならない程度に除去されれば良いと考えられる。そのため、給付点数は直腸検査2回分程度が妥当と考える。	
				現在では宮阜を外す胎盤除去は獣医学的にも効果が無いばかりか難治性子宮内膜炎の原因とされている。ただし子宮外口の外から引っ張り出す事は行った方が良いと思われるので：B種を600点→200点（子宮内薬剤挿入含む）	
93	尿道切開手術	732	1200	開腹手術がB－Aが3049なのに対して手術時間難易度からして1200点ぐらいがいいのではないかと。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
94	骨折整復 （非観血整復術）	566	808	固定処置は、非観血整復に於いても、予後を左右する重要な 処置であり、機材も高価になっており、技術料のアップは必要である（希望点数の根拠は蹄病手術732点以上）。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。
95	ナックル整復	481	566	ギブスを用いてナックル整復を試みる場合、骨折整復（非観血整復術）と全く同様の手技である。「61蹄病処置」と同様の点数では均衡を欠くと考えられる。	本小委員会における調査審議結果を踏まえ、必要に応じ見直します。
			250	プラスチック性のナックル固定用具があるが、A点では足りない。この固定用具を使用すれば作業時間も短縮でき、B点については下げても良いと思う。	
98	蹄病手術	732	832	肢を挙げる作業は労力を必要とするので増点が必要。	難易度からも現行の点数が適当と考えます。